



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日
東

上場会社名 トレンドマイクロ株式会社 上場取引所
コード番号 4704 URL <http://www.trendmicro.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) エバ・チェン
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) マヘンドラ・ネギ (TEL) 03-5334-4899
四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	92,244	0.7	22,730	△5.8	21,566	△20.4	13,713	△20.0
27年12月期第3四半期	91,599	9.1	24,120	△2.1	27,088	2.2	17,144	4.0

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 1,441百万円(△87.5%) 27年12月期第3四半期 11,577百万円(△32.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	99.99	99.50
27年12月期第3四半期	126.36	125.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	271,721	147,880	53.8
27年12月期	290,520	159,693	54.4

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 146,218百万円 27年12月期 158,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	110.00	110.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成28年12月期の期末配当については未定です。

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,800	11.6	27,300	△11.9	28,900	△15.2	18,700	△12.8	136.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年12月期3Q	140,293,004株	27年12月期	140,293,004株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

28年12月期3Q	2,831,174株	27年12月期	3,378,224株
-----------	------------	---------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年12月期3Q	137,148,272株	27年12月期3Q	135,685,299株
-----------	--------------	-----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高		
	平成28年12月期 第3四半期 (累計)	平成27年12月期 第3四半期 (累計)	増減率
日本	40,279	38,768	3.9%
北米地域	23,051	21,760	5.9%
欧州地域	15,310	15,507	-1.3%
アジア・パシフィック地域	11,115	13,224	-16.0%
中南米地域	2,488	2,338	6.4%
合計	92,244	91,599	0.7%

当第3四半期連結累計期間(平成28年1月1日～平成28年9月30日)における世界経済は、年内の利上げ観測が想定されながら見送りが続く米国経済の動向をはじめ、このところ持ち直しの兆しが見えるものの横ばいが続く欧州経済、引き続き穏やかな経済成長減速が見える中国をはじめとする新興国経済など、世界経済の先行き不透明感は否めません。

わが国経済は各種政策の下、緩やかな回復基調が続いておりますが、世界景気の下振れ懸念や円高の進行など、世界経済が及ぼす影響への懸念を払拭できないまま推移いたしました。

情報産業につきましては、引き続きサーバ仮想化を含むクラウドコンピューティングとそれに伴うITサービスの需要が世界的にIT投資を牽引しています。一方、依然として世界のパソコン出荷台数は前年同期を下回っており、米国においては新学期需要の低下他、新興諸国においては主要端末がPC以外へシフトしていることなどが要因と見られております。国内はIT予算において増額を考えている企業が増加しており、中でもIoTやAIなどの新分野も今後の投資項目に浮上してきております。

セキュリティ業界におきましては、依然として特定の企業や国家機関などを狙ったサイバーテロ攻撃や、それらによる企業の顧客情報や個人のプライベート情報の漏洩、身代金要求型不正プログラムであるランサムウェアなどが注目を集めております。

このような環境下、当社グループの経営状況は、以下のようなものであります。なお、欧州地域及びアジア・パシフィック地域に関しましては社内管理体制上の管理区分の変更に伴い、両地域の売上高及び前年同期比においては新しい地域構成に準じて記載しております。

日本地域につきましては、標的型攻撃対策関連ビジネスが力強い成長を見せ、クラウド関連ビジネスと共に企業向けビジネスを牽引しました。個人向けビジネスにおきましても引き続きユーザ数を維持しており、5つの地域セグメントの中で唯一企業向けビジネス及び個人向けビジネス共に増収となりました。その結果、同地域の売上高は40,279百万円(前年同期比3.9%増)と増収となりました。

北米地域につきましては、個人向けビジネスはユーザ数の減少による減収傾向が続いておりますが、企業向けビジネスは事業譲り受けが完了したTippingPointの貢献が次第に大きくなりつつある中、円高の影響を受けたものの同地域の売上高は23,051百万円(前年同期比5.9%増)と増収となりました。

欧州地域につきましては、現地通貨ベースでは引き続き標的型攻撃対策関連ビジネスの貢献により企業向けビジネスが好調を維持したものの、為替の影響もあり、その結果、同地域の売上高は15,310百万円(前年同期比1.3%

減)と減収となりました。

アジア・パシフィック地域につきましては、現地通貨ベースではオーストラリアを中心に企業向けビジネスが堅調だったものの、前年11月に譲渡した中国ビジネスの減少及び円高の影響を大きく受けました。その結果、同地域の売上高は11,115百万円(前年同期比16.0%減)と減収となりました。

中南米地域につきましては、標的型攻撃対策関連ビジネス及びクラウド関連ビジネスがともに大きな伸長を見せ、ブラジルが同地域を牽引しました。その結果、円高の影響を大きく受けたものの、同地域の売上高は2,488百万円(前年同期比6.4%増)と、増収となりました。

その結果、当社グループ全体の当第3四半期連結累計期間における売上高は92,244百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

一方費用につきましては、主に自社株連動型報酬が減少したものの、のれん償却費及び人件費が増加し、売上原価および、販売費及び一般管理費の合計費用は69,514百万円(前年同期比3.0%増)と増加となり、当第3四半期連結累計期間の営業利益は22,730百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の経常利益は主に期初からの為替差損の大幅な増加や、有価証券売却益が減少したこと等により、21,566百万円(前年同期比20.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13,713百万円(前年同期比20.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の現金及び預金の残高は70,359百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,479百万円減少いたしました。

また、TippingPointを買収したことにより、のれんが大幅に増加したものの、投資有価証券及び有価証券が大幅に減少したこと等により、当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ18,799百万円減少の271,721百万円となりました。

一方、当第3四半期連結会計期間末の負債は主に未払法人税等の減少により前連結会計年度末に比べ6,985百万円減少の123,841百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払いや為替換算調整勘定の大幅な減少等により、前連結会計年度末に比べ11,813百万円減少の147,880百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成28年2月18日に公表した通期業績予想の変更はございません。

平成28年12月期通期業績見通し(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

連結売上高	138,800百万円
連結営業利益	27,300百万円
連結経常利益	28,900百万円
連結純利益	18,700百万円

上記業績予想値の策定にあたって、前提としております為替レートの主要なものは下記の通りであります。

1米ドル	119円
1ユーロ	130円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(法人税等の税率の変更による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることになりました。

この税率変更により、法人税等が633百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,838	70,359
受取手形及び売掛金	30,258	28,003
有価証券	71,914	56,737
たな卸資産	810	1,546
繰延税金資産	15,635	15,547
その他	9,319	7,727
貸倒引当金	△289	△254
流動資産合計	201,488	179,667
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	4,516	3,703
その他（純額）	1,271	1,261
有形固定資産合計	5,788	4,964
無形固定資産		
ソフトウェア	7,259	8,490
のれん	238	25,261
その他	711	545
無形固定資産合計	8,209	34,296
投資その他の資産		
投資有価証券	61,010	39,128
関係会社株式	1,794	1,664
繰延税金資産	10,731	10,497
その他	1,496	1,500
投資その他の資産合計	75,033	52,792
固定資産合計	89,032	92,053
資産合計	290,520	271,721

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	560	848
未払金	5,494	4,953
未払費用	4,625	4,232
未払法人税等	5,142	1,367
賞与引当金	1,476	2,015
返品調整引当金	702	1,173
短期繰延収益	69,132	68,629
その他	7,405	3,615
流動負債合計	94,539	86,836
固定負債		
長期繰延収益	30,113	30,732
退職給付に係る負債	4,280	4,216
その他	1,893	2,056
固定負債合計	36,287	37,004
負債合計	130,826	123,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,386	18,386
資本剰余金	22,431	22,588
利益剰余金	124,857	123,509
自己株式	△10,326	△8,654
株主資本合計	155,348	155,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234	△619
為替換算調整勘定	3,001	△8,519
退職給付に係る調整累計額	△576	△472
その他の包括利益累計額合計	2,659	△9,612
新株予約権	1,681	1,657
非支配株主持分	3	3
純資産合計	159,693	147,880
負債純資産合計	290,520	271,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	91,599	92,244
売上原価	15,719	16,225
売上総利益	75,879	76,019
販売費及び一般管理費	51,759	53,288
営業利益	24,120	22,730
営業外収益		
受取利息	1,137	960
有価証券売却益	1,386	133
持分法による投資利益	—	146
デリバティブ評価益	—	745
為替差益	468	—
その他	230	194
営業外収益合計	3,222	2,180
営業外費用		
支払利息	1	6
為替差損	—	2,874
持分法による投資損失	110	—
有価証券売却損	4	161
固定資産除却損	64	226
その他	72	75
営業外費用合計	254	3,344
経常利益	27,088	21,566
特別利益		
新株予約権戻入益	20	18
関係会社株式売却益	—	554
特別利益合計	20	572
税金等調整前四半期純利益	27,109	22,138
法人税等	9,964	8,424
四半期純利益	17,144	13,714
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,144	13,713

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	17,144	13,714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,946	△853
為替換算調整勘定	△3,733	△11,245
退職給付に係る調整額	113	103
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△276
その他の包括利益合計	△5,567	△12,272
四半期包括利益	11,577	1,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,577	1,441
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	27,109	22,138
減価償却費	5,984	4,360
株式報酬費用	501	419
新株予約権戻入益	△20	△18
のれん償却額	373	3,605
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	6
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	394	498
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	26	153
受取利息	△1,137	△960
支払利息	1	6
持分法による投資損益 (△は益)	110	△146
固定資産除却損	64	226
有価証券売却損益 (△は益)	△1,382	27
デリバティブ評価損益 (△は益)	—	△745
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△554
売上債権の増減額 (△は増加)	192	△529
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△177	△853
仕入債務の増減額 (△は減少)	39	394
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△476	141
繰延収益の増減額 (△は減少)	2,208	7,021
自社株連動型報酬 (△は減少)	412	△2,149
その他	△859	△991
小計	33,351	32,051
利息及び配当金の受取額	1,229	1,648
利息の支払額	△1	△6
法人税等の支払額	△11,699	△12,296
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,878	21,397
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△16	△4
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△108,131	△10,890
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	95,151	59,366
有形固定資産の取得による支出	△2,858	△1,731
無形固定資産の取得による支出	△4,095	△4,321
事業譲受による支出	—	△28,808
関係会社株式の取得による支出	△36	—
関係会社株式の売却による収入	—	528
その他	46	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,942	14,138
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
自己株式の処分による収入	4,479	1,403
配当金の支払額	△14,837	△14,493
その他	△11	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,369	△13,090
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,374	△5,512
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,807	16,932
現金及び現金同等物の期首残高	58,662	70,678
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,855	87,611

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	中南米	計	調整額 (注)3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)4
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	38,768	21,760	15,507	13,224	2,338	91,599	—	91,599
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	601	2,276	1,477	14,753	13	19,122	△19,122	—
計	39,369	24,037	16,984	27,977	2,351	110,721	△19,122	91,599
セグメント利益	13,073	5,347	2,776	2,232	708	24,138	△18	24,120

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国・カナダ

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・韓国・オーストラリア・中国・フィリピン・シンガポール・

マレーシア・タイ・インド・UAE

中南米 … ブラジル・メキシコ

3 セグメント利益の調整額△18百万円は、その全額がセグメント間取引の金額であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	中南米	計	調整額 (注)3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)4
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	40,279	23,051	15,310	11,115	2,488	92,244	—	92,244
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	2,288	1,427	15,184	11	18,912	△18,912	—
計	40,279	25,339	16,737	26,299	2,499	111,157	△18,912	92,244
セグメント利益	12,658	2,389	2,544	3,853	924	22,371	358	22,730

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国・カナダ

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・韓国・オーストラリア・中国・フィリピン・シンガポール・
マレーシア・タイ・インド・UAE

中南米 … ブラジル・メキシコ

3 セグメント利益の調整額358百万円は、その全額がセグメント間取引の金額であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第3四半期連結会計期間より、社内管理体制を見直した結果、一部の連結子会社について報告セグメントの区分を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。